

公益社団法人日本青年会議所

2018年度LOM支援グループ 褒賞委員会

日本JCクラウドファンディング 活用の手引き

2018年1月3日改訂

1. はじめに
2. 日本JCクラウドファンディングについて
3. 担当キュレーターについて
4. 各プロジェクトのサイト掲載までの流れについて
5. Q & A

参考資料1 プロジェクト企画書（別紙）

【お問い合わせ先】

公益社団法人日本青年会議所

2018年度 LOM支援グループ 褒賞委員会副委員長 えびす 戒 けんたろう 健太郎

連絡先：090-3054-7981

問合せメールアドレス k-ebisu@ebisu-k.co.jp

1. はじめに

国内の各地域では、多くの社会的課題を抱え、国民のニーズや多様化や高度化が進む中、政治・行政だけでは対応が困難となっている一方で、NPO・各種団体・企業・個人が、社会的課題解決に取り組む事例は増加傾向にあります。しかし、経済的な基盤が脆弱であることから、思うような活動と成果を生み出せずにあります。このような背景から、社会的活動に取り組む主体者の経済性を支えるために、一般市民が主体者に資金を提供するクラウドファンディングという仕組みが普及しつつあります。

そこで褒賞委員会では、クラウドファンディング「日本JCクラウドファンディング」を用い、国民の地域社会の発展に貢献する意識と社会的活動を経済的に結びつけながら、地域の社会的課題を解決していく取り組みを推進していきます。

2. 日本JCクラウドファンディングについて

公益社団法人日本青年会議所 褒賞委員会は、FAAVOと連携して、各地会員会議所・地域の社会的活動に携わる自治体・NPO・個人等から地域のブランド力の創出または向上するプロジェクト（事業）の企画を資金面で支援するため、JC版クラウドファンディング「日本JCクラウドファンディング」を普及して参ります。

一般市民からの資金提供を原資としてプロジェクトの活動資金に充てていく「日本JCクラウドファンディング」が青年会議所のネットワークを通じて普及することが、各地の社会的課題解決につなげ、今後の地域再興の礎となります。

▼対外目的

「日本JCクラウドファンディング」を活用し、諸団体の強みを活かす連携構築の中で、地域の課題を持続的に解決することを目的とします。

▼対内目的

事業構築をサポートする褒賞委員会として、予算面をサポートすることを目的とします。

▼仕組み

「日本JCクラウドファンディング」とは、インターネット（HP）を通じて、国民が社会的課題解決に資するプロジェクトに資金を提供し、プロジェクト実施につなげる仕組みです。

国民がプロジェクトに共感 → 資金の提供 → 主体者がプロジェクトを実施

クラウドファンディングは、「購入型」「寄付型」「金融型」などの分類があります。日本JCクラウドファンディングは、「購入型」を採用しています。

購入型とは、目標額に達成した場合、実行者（プレイヤー）が資金提供した支援者（サポーター）に、モノやサービスや権利などで還元する形です。購入型のクラウドファンディングは、普及率が高く、資金を必要とする側・提供する側ともに多くの人々が活用しています。

▼日本JCクラウドファンディングの運用・管理

日本JCクラウドファンディングは、褒賞委員会が窓口として運用・管理する購入型のクラウドファンディングです。なお、クラウドファンディング運営代行企業（FAAVO）と連携し、運用・管理しています。

▼活用方法

- ① NPO・各種団体・企業・個人が、起案し実行するプロジェクトに活用していただきます。
- ② 各地会員会議所の事業（以後総称：プロジェクト）に活用していただきます。

▼活用ルール

- ① 購入型は、All or Nothing方式となります。目標金額に達した場合のみ、実施のための資金が実行者に提供されます。目標金額に達しない場合は、実行者への資金提供はなされません。後者では、クレジットカード決済も行われないため、支援者への請求も発生致しません。
- ② 実施のための資金が実行者に提供される際、調達額から5～20%（税別）の成功手数料が発生致します。

▼メリット（個人）

- ① 「日本JCクラウドファンディング」を活用することで、695LOM約35,000名の青年会議所メンバーという社会的課題に対して関心の高い支援者のネットワークにつながることができます。
- ② 主体者の認知・共感・信頼などブランディングにつながります。
- ③ プロジェクトに関心を集める機会となり、一定の動員の確保や事業告知やプロモーション活動につながります。
- ④ プロジェクトの検証ツールとなり、事業内容に賛同する定量的な結果分析につながります。

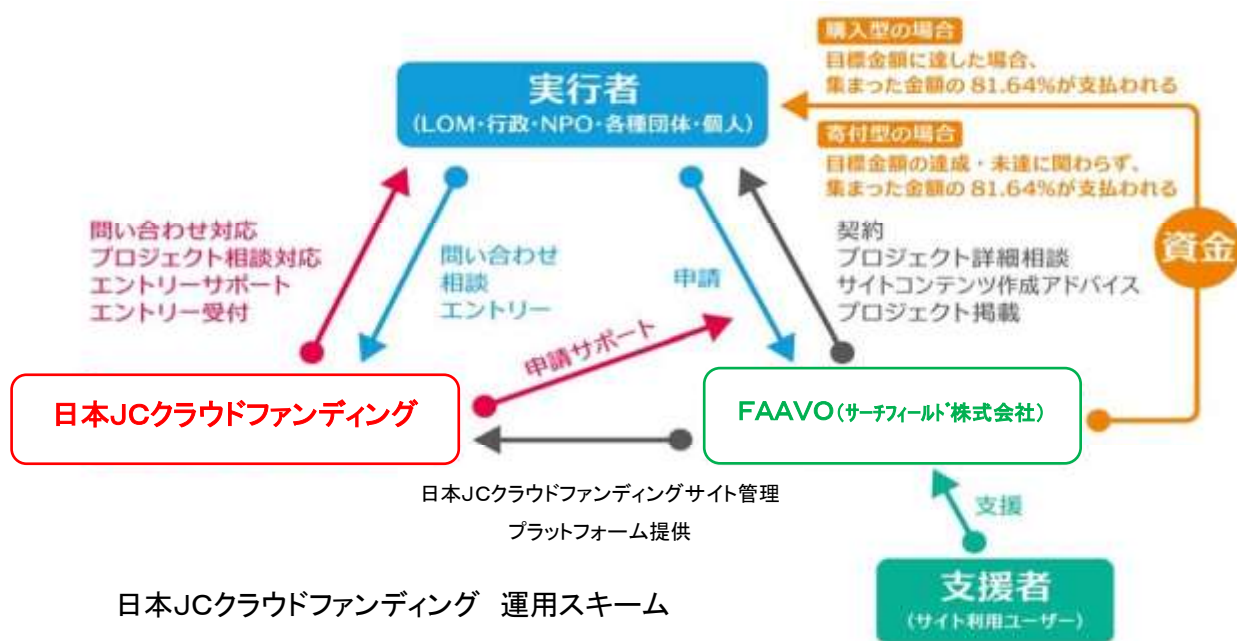
▼メリット（LOM）

- ① LOMの認知・共感・信頼などブランディングにつながります。
- ② 実施する事業に関心を集める機会となり、一定の動員の確保や事業告知やプロモーション活動につながります。
- ③ 実施する事業の事前検証ツールとなり、事業内容に賛同に対する定量的な結果分析につながります。
- ④ 事業予算を拡大することで、地域にもたらす効果を高めることにつながります。

▼サポート体制

- ① 褒賞委員会は、各地会員会議所の各種相談の窓口となります。
- ② 褒賞委員会の他に、運営代行企業FAAVOの専属担当者（キュレーター）が企画からプロジェクトの実施・アフターフォローまでサポートします。
- ③ キュレーターは、担当する実行者によるプロジェクトの企画内容のブラッシュアップや掲載文章の推敲、使用写真のアドバイスなどのサポートを行います。

▼参考：運用スキーム図



日本JCクラウドファンディング 運用スキーム

3. 担当キュレーターについて

- ① 日本JCクラウドファンディングでは、FAAVOが運営するクラウドファンディングシステムを活用します。プロジェクトは実行者とFAAVO担当キュレーター間で承諾依頼書兼承諾書を交わし、プロジェクト企画立案及び掲載・リターン品の選定及び送付（購入型）まで、全ての運用を担当キュレーターがサポートします。
- ② 掲載審査・掲載申込手続き・プロジェクト内容の詳細相談・サイトコンテンツ作成アドバイス・プロジェクト掲載・アフターフォローまで、専門性の問われる実務運営を担当キュレーターがフルサポートします。

4. サイト掲載までの流れについて

▼エントリー方法

エントリー方法は、「参考資料1」程度の内容を作成していただき、FAAVOが運営するクラウドファンディング特設サービスページ「日本JCクラウドファンディング」よりエントリーボタンよりエントリーしていただくか、活用の手引き表紙にあるお問い合わせ先にエントリー希望とご連絡いただければご対応させていただきます。▼一般の実行者が「日本JCクラウドファンディング」からエントリーする場合

① 問い合わせ受付・プロジェクトのエントリー

実行者は、「参考資料1」程度の企画書を作成していただき、褒賞委員会に問い合わせをお願いします。当委員会として推薦できる案件であると判断したら、FAAVOの担当キュレーターと再度審査を行い、後日結果のご報告を致します。

※プロジェクトが日本JCクラウドファンディングの趣旨に合致しているか審査を行います。

※プロジェクトの内容によって、本システムを利用いただけない場合があります。

② 実行者と担当キュレーターで内容のブラッシュアップ

審査を通過すると、プロジェクト公開に向けて、内容をブラッシュアップしていきます。経験豊富な担当キュレーターが伴走し、実行者の想いを形にする作業をサポートします。

③ プロジェクトスタート

共感を集めるには、実行者自らが多くの人に知らせる必要があります。ブログやFacebook・TwitterなどのSNSを最大限活用し拡散できる体制が整い、掲載原稿が完成すれば、プロジェクトが公開となります。

▼各地会員会議所が実行者としてエントリーする場合

① 問い合わせ受付・プロジェクトのエントリー

実行者は、「参考資料1」程度の企画書を作成していただき、日本JCクラウドファンディングサイト内のエントリーフォームからエントリーしてください。褒賞委員会とFAAVOのキュレーターで審査を行い、後日結果のご報告を致します。

※プロジェクトが日本JCクラウドファンディングの趣旨に合致しているか審査を行います。

② LOM担当者と担当キュレーターで内容のブラッシュアップ ※上記②と同様。

③ プロジェクトスタート ※上記③と同様。

▼サイト掲載受付期限について

プロジェクト新規掲載受付は、2018年9月30日（土）までとなります。本年度中にプロジェクトが終了しないと褒賞委員会が判断した場合は、日本JCクラウドファンディングへの掲載は出来なくなります。

▼目標達成を越えて支援金が集まった場合について

① プロジェクト対象の事業を実施の際に、支援金に応じて事業規模を拡大していただき、利益などが出ないようにお願い致します。

② または、慈善事業などに対する寄付などをお願い致します。その場合、目標額を越えた集まった支援金を寄付する旨を、予めプロジェクト掲載する際にどのような事業に寄付を行うのかを明記することが必要です。

▼資金の流れ留意点

【各地青年会議所自体が日本JCクラウドファンディングを活用する場合】

褒賞委員会が、会計処理や手続きに対して一律のルールを設定・適用をすることは困難なため、下記を参考していただきながら各地会員会議所のルールや財務運用者及び、各都道府県が所管する関係部署と協議のうえ進めてください。

【理事会への議案上程と可決承認及び総会決議までの流れ】

STEP 1	プロジェクト起 案時期	<p>◆事業実施の4ヶ月前までには、プロジェクト内容・資金の執行計画・目標金額等を褒賞委員会及びFAAVO担当キュレーターと協議のうえ、計画を立ててください。</p> <p>◆プロジェクトが公益事業として確認の必要がある場合は、各々で都道府県が所管する関係部署に問い合わせください。収益事業の判断により公益事業と認められないケースもあります。</p>
STEP 2	税制上の理解	<p>◆公益法人に税金は掛かりませんが、一般社団法人の場合、利益部分に税金が発生します。</p> <p>◆金額が大きい場合、消費税納税の可能性があるので、各都道府県の関係部署に事前確認を取ってください。</p>
STEP 3	寄付金で計上す るケース	<p>◆会員会議所については公益法人会計など各都道府県の関係部署関係部署に事前確認を取ってください。</p> <p>事例：JCI JAPAN SMILE by WATER「水で世界を笑顔にする！スマイル・雨水ヴィレッジ・プロジェクト」の支援の計上科目は「寄付金収益」となります。</p>
STEP 4	理事会①	<p>◆事業の概要のみを決定する議案（骨子議案）を上程し、事業目的・予算（日本JCクラウドファンディング実施前の当初予算）・開催日時・会場・大筋の事業内容について承認を得てください。</p> <p>◆日本JCクラウドファンディングにて、事業予算を増額する議案を上程し、承認を得てください。</p>
STEP 5	プロジェクトの 実施	◆日本JCクラウドファンディングを実施し、集まった支援金額を確定してください。
STEP 6	理事会②	◆日本JCクラウドファンディングにて、獲得した支援金額を上乗せした事業の実施議案を理事会に上程し、承認を得てください。
STEP 7	事業の実施	◆事業を実施してください。購入型プロジェクトの場合は、決算議案を理事会に上程までにリターンの受け渡しを完了してください。
STEP 8	実施後の補正	◆事業の実施において事業予算の補正があった場合は、理事会の承認を得てください。
STEP 9	臨時総会	◆支援金額の確定後、総会を開催し本会計の修正または補正を行い、承認を得てください。

※日本JCクラウドファンディングの活用にあたっては、支援金の用途において利益が出ないように注意が必要です。

5. Q & A

Q1 どのようにプロジェクトをつくると良いですか。

A1 共感されるプロジェクトの内容・名称（タイトル）・原価や郵送料を考慮しながら還元す

るお礼・集まりやすい目標金額・事業準備の時間を見据えた募集期間を企画し、褒賞委員会までお問合せください。

Q 2 どのように支援者を募ると良いですか。

A 2 多くの共感者から小口の資金提供を得る工夫が必要です。FacebookなどのSNSを通じてプロジェクトを知ることも多く、草の根的な活動から共感の輪を広げていくことが大切です。また、購入型の場合はリターン（支援者に還元されるモノやサービスや権利など）に対して興味をもつ方も多いのは事実です。さらに、地域の人びとに共有されている課題に対するプロジェクトや、知られている場所でのプロジェクトは共感されやすい可能性があります。

Q 3 個人でも可能ですか。

A 3 可能です。一人の学生や数人の団体がプロジェクトを起案し、実施するケースも多くあります。少額のプロジェクトから開始して後々仲間が集まり事務局を開設し、継続的なプロジェクトにつながるケースもあります。

Q 4 金額はどの程度の設定が良いですか。

A 4 100,000円以上からプロジェクトの内容に応じて、キュレーターと相談のうえでの設定となります。また、プロジェクトの総予算として資金を集めるケースもありますが、プロジェクトに関連する一部分の資金を集めるケースもあります。

Q 5 ふるさと納税と日本JCクラウドファンディングの違いを教えてください。

A 5 ふるさと納税は自治体の財源になりますが使い道がはっきりしないこともあります。日本JCクラウドファンディングは、社会的課題解決にどう使われるかが明確になる点の違いがあります。一方で支援者への税制上の優遇は、適用されません。

Q 6 プロジェクトが年度をまたぐ場合はどうなりますか。

A 6 単年度制であるためプロジェクト実施は9月末までとなりますが、その後も本年度中は、既存のクラウドファンディング（FAAVO）への斡旋が可能です。

Q 7 社会問題解決に資するプロジェクトとは何でしょうか。

A 7 まちづくりだけに関わらず、ものづくり・農業・漁業・林業・出版・映像・音楽・ご当地の食材グルメ・テクノロジー・子育て・国際交流・福祉・災害支援などです。

Q 8 理事会や総会を通さずにLOMの事業に資金をつけることができますか。

A 8 実行者がLOMである場合は、JCの予算に組み込まれるため、原則理事会や総会を通さずに行うことは、法的な会計処理として問題が生じる可能性があります。ただし、

青年会議所の事業の中で協働する他の団体自体が、自らの意志で日本J Cクラウドファンディングから資金調達し実施する場合は、青年会議所の会計を通す必要はなくなります。なお、その団体が任意団体であるかなどで生じる諸問題や関係性はLOMで対応していただきたいと思います。

Q 9 目標金額達成後の資金の提供はいつ頃になりますか。

A 9 プロジェクト募集期間終了月の翌々月10日までにFAAVOより手数料17% (税別) を差し引いた金額が、実行者の口座に入金されます。

Q 10 支援者の個人情報管理はどこで行うのですか。

A 10 原則としてプロジェクト実行者での管理となります。個人情報保管期間は、7年間は望ましいです。

Q 11 承諾依頼書兼承諾書とは何ですか。

A 11 実行者とFAAVO担当キュレーターとの間で交わされる書類となり、サポート料、サポート内容などの取り決めを承諾する書類となります。
※契約内容の詳細は、FAAVOにお問い合わせください。